

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和07年06月20日(金)

事務事業		保育課補助・連絡調整事務		担当課	川本市民生活課	担当係	福祉係	管理番号	22222
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	将来に向けた持続可能なまちづくり	根拠法令 個別計画等	児童福祉法 深谷市保育園条例 深谷市学童保育室条例 等				
	小項目	4	行財政運営の推進						
	主要プロジェクト								
事業概要		保育園入園及び公立学童保育室入室申請や異動届を受け付けし、保育課へ引継ぎを行う。							
目的 ※何のために		保護者が申請等を身近な場所で行うため。							
対象 ※誰・何を対象に		・保育園入園及び学童保育室入室を希望する保護者 ・すでに保育園に入園、学童保育室に入室している児童の保護者							
手段 ※どのように		保育課と連携しながら、申請や異動届等の受付を適切に行い、保育課への引継ぎを確実に行う。							
成果 ※何を求めるか		申請等手続きの利便性の維持、向上							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NP0等 <input type="checkbox"/> その他()							
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)	
本事業の 主な業務		・ 保育園入園申請及び異動届受付業務				・			
		・ 公立学童保育室入室申請及び異動届受付業務				・			
		・ 保育課との連絡調整				・			
		・				・			
		・				・			
		・				・			

2. 事業費(投入コスト)

※令和6年度は決算見込み額です。

単位: 円

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画						
事業費	予算(現額)	0	0	0	0	
	決算額	0	0	0	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	0	
人件費	従事職員数(人)	0.39	0.41	0.43	0.45	
	人件費相当試算※	3,069,128	3,284,168	3,535,564	3,837,519	
総事業費試算		3,069,128	3,284,168	3,535,564	3,837,519	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	保育園入園・公立学童保育室 入室受付件数	目標値	件						
		実績値		158.00	117.00	128.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標値は設定になじまないため設定せず。 / 受付件数						
	実績値の算出式								
成果指標 1	事務処理誤りの件数	目標値	件	0.00	0.00	0.00			
		実績値		0.00	0.00	0.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		誤りのない事務処理を目指し、目標値を「0」とした。 / 件数						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	保育園入園、学童保育室入室申請受付数は128件で、昨年度より11件増加した。 受け付けた申請書の全てを保育課へ確実に引き継ぐことができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	窓口業務を適切に処理し、苦情は0件だった。
			評価者 福祉係長 向井 久美

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	保育課が開催した入園（入室）受付等に関する研修を受講したことにより、職員一人ひとりのスキルが向上し、受付業務を短時間で効率的に行うことができた。
			評価者 福祉係長 向井 久美